

2024年4月2日

各位

新たな福利厚生『低用量ピル・更年期障害治療薬の補助制度』を開始

女性医療のスペシャリティファーマとして、女性社員の健康課題にも取り組む

富士製薬工業株式会社(本社:東京都千代田区、以下「当社」)は、あらたな福利厚生制度として、2024年4月1日より全女性社員を対象とした『低用量ピルと更年期障害治療薬の補助制度』(以下「本制度」)を開始いたしましたのでお知らせいたします。

当社は、多数の女性医療用医薬品の開発・製造・販売をする「女性医療のスペシャリティファーマ」¹を自負しており、2030年ビジョンの一つには「世界の女性のwell-beingの向上に貢献する」を掲げております。これまでも女性たちが毎日をもっと健やかに生き生きと過ごすことができる世界づくりを目指し、医薬品の提供を中心に女性のwell-being向上への貢献を果たしております。

日経BP総合研究所メディカル・ヘルスラボ「生理快適プロジェクト」²が実施した「働く女性調査2021」³によると、月経に伴う症状のある働く女性のうち、約70%の方が月経前や月経中に強い症状があると回答され⁴、また特定非営利活動法人 日本医療政策機構が実施した「働く女性の健康増進に関する調査2018」⁵では、元気な状態の仕事を10点とした場合に、更年期症状や更年期障害によってパフォーマンスが半分以下になると回答した人は約半数にのびりました。

これらを含む女性特有の健康課題による労働損失等の経済損失は、2024年2月経済産業省が発表した「女性特有の健康課題による経済損失の試算と健康経営の必要性について」⁶によると約3.4兆円です。

上記のような課題に対して、受診・服薬へのハードルが下がり、適切な対処方法にアプローチできる機会が増えることで、女性活躍も推進されていくと考えております。当社は、従業員866人の43.5%を女性従業員が占めます。本制度を導入することで、ひとり一人の健康課題の解決を支援するとともに、それぞれが健康に関するアンテナを高く持ち、能力をさらに発揮しやすい職場づくりを推進してまいります。

【本件に関するお問い合わせ】

報道関係者の皆さま

経営戦略本部 経営企画部 コーポレートコミュニケーション課

E-mail : fsks@fujipharma.jp

¹ 富士製薬工業株式会社 2023年9月期決算説明会資料 p.8 (売上高の女性医療が占める割合 44%)

https://www.fujipharma.jp/_upload/b134e64dbec350834045074207c139fdfa68e46e.pdf

² 生理快適プロジェクト (2020年10月発足) 主催:日経BP総合研究所、協賛:富士製薬工業 他

³ 日経BP総合研究所メディカル・ヘルスラボ「働く女性 1956人の生理の悩みと仕事と生活」

⁴ 「生理前・生理中いずれも症状が強い」31.6%、「生理前のみ症状が強い」10.3%、「生理中のみ症状が強い」24.5%の合計 66.4%

⁵ 特定非営利活動法人日本医療政策機構「働く女性の健康増進に関する調査 2018」

⁶ 経済産業省「女性特有の健康課題による経済損失の試算と健康経営の必要性について」(令和6年2月)

【制度概要】

- 対象者 : 当社に所属している全女性社員
- 補助対象 : 低用量ピル、更年期障害治療薬（対象医薬品の一覧あり）
- 補助金額 : ひと月当たり 3,000 円（税込）を限度に支給
- 利用方法 : 申請者本人に対象医薬品が処方されたことが分かるものを提出